



リビングウィル

稲城市保健センター

☎378-3421

リビングウィルという言葉葉を最近耳にするようになってきました。しかしながら患者さんやご家族と話をすると、まだまだ認知度は低いように感じます。リビングウィルとは直訳すると生前意思となりますが、日本で一般にリビングウィルと言った場合には「尊厳死の宣言書」という意味で使われることが多いようです。

元来医療は患者さんの病気を治すため、言い方をかえると寿命を延ばすために行われてきました。しかしながら科学の発展と共に医療も発展し、過去にはできなかった治療が行えるようになり、場合によっては回復の見込みのない状態の患者さんを治療によって延命することが可能となってきました。回復の見込みのない状態で治療を継続することが、必ずしも患者さんの望む治療とは言えないとの見方もあり、そこから尊厳死という概念が生まれてきたのではな

いかと思えます。どのような状態を回復の見込みがない(終末期)と判断するのかがまだはつきりとは定まっていませんが、国から

も終末期の患者さんに関しての治療方針は患者さん本人の意思を尊重するという指針が出されています。また尊厳死の法制化を求める声もあり、こと、終末期の治療に関しては患者さん自身の希望で方針が決まるという時代が近いうちに来るかもしれません。

今は健康であつても、いつ病気やけがになるかわかりません。皆さんも、もし自分が回復の見込みがない状態になった時にどのような場所で、どのような治療を受けたいのか、「リビングウィル」について考えてみてはいかががでしょうか。

稲城市医師会 櫻井 和弘